

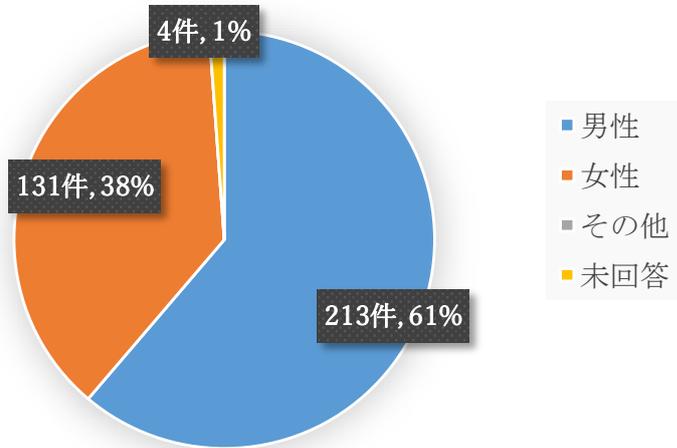
転出者及び転入者へのアンケート結果報告書

アンケート概要

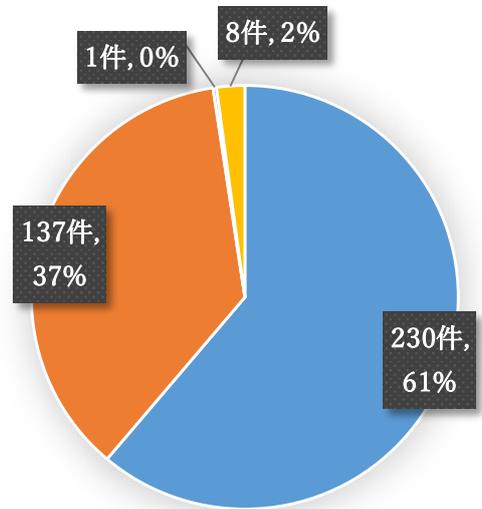
調査対象者	期間内に浜田市へ転出届、転入届を提出された方
回答件数／届出件数 (回答率)	転出者向けアンケート：348件／667件 (52.17%) 転入者向けアンケート：376件／634件 (59.30%)
実施期間	令和3年3月18日から令和3年5月31日まで
調査方法	用紙への記入によるアンケート調査
設問数	転出者向けアンケート：16問 転入者向けアンケート：18問

1-1 基本属性【性別(転出・転入)】

【転出】

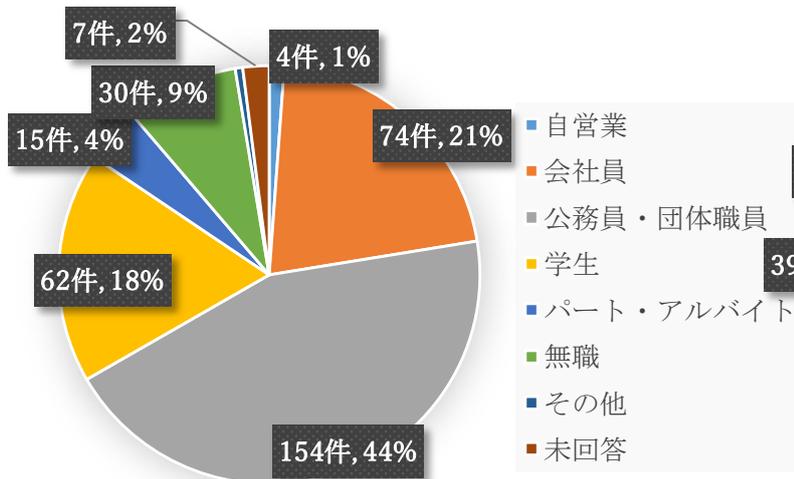


【転入】

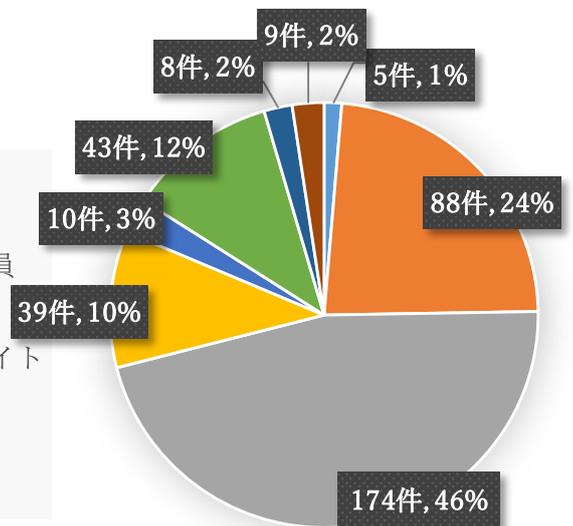


1-2 基本属性【職業(転出・転入)】

【転出】



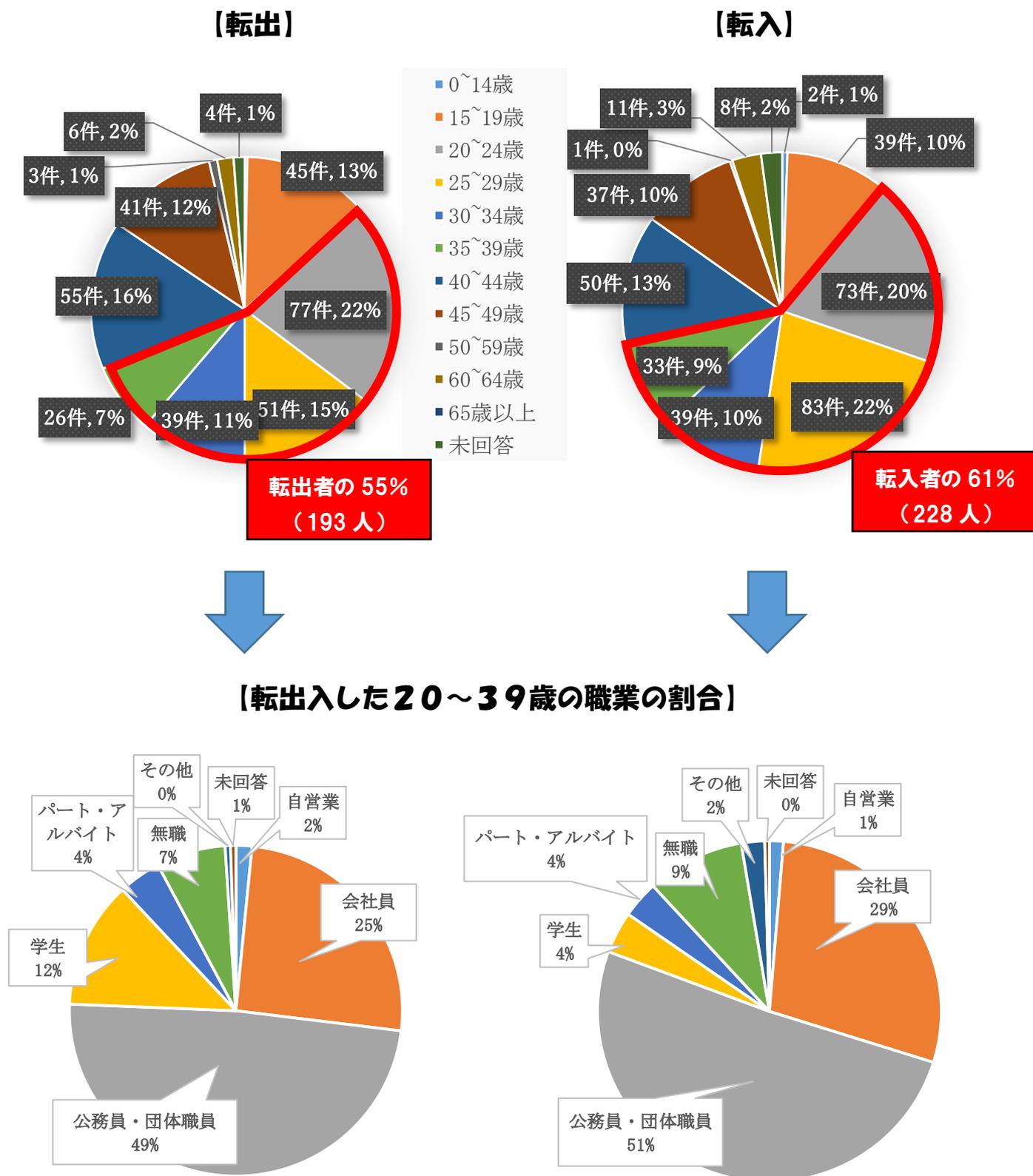
【転入】



1-3 基本属性【年齢層(転出・転入)】

年齢層は、転入・転出とも若い世代(20~39歳)が5割以上を占めています。アンケート結果のため、件数が転出入の実数とはなりません。この世代の転出入の割合が高いことが分かります。

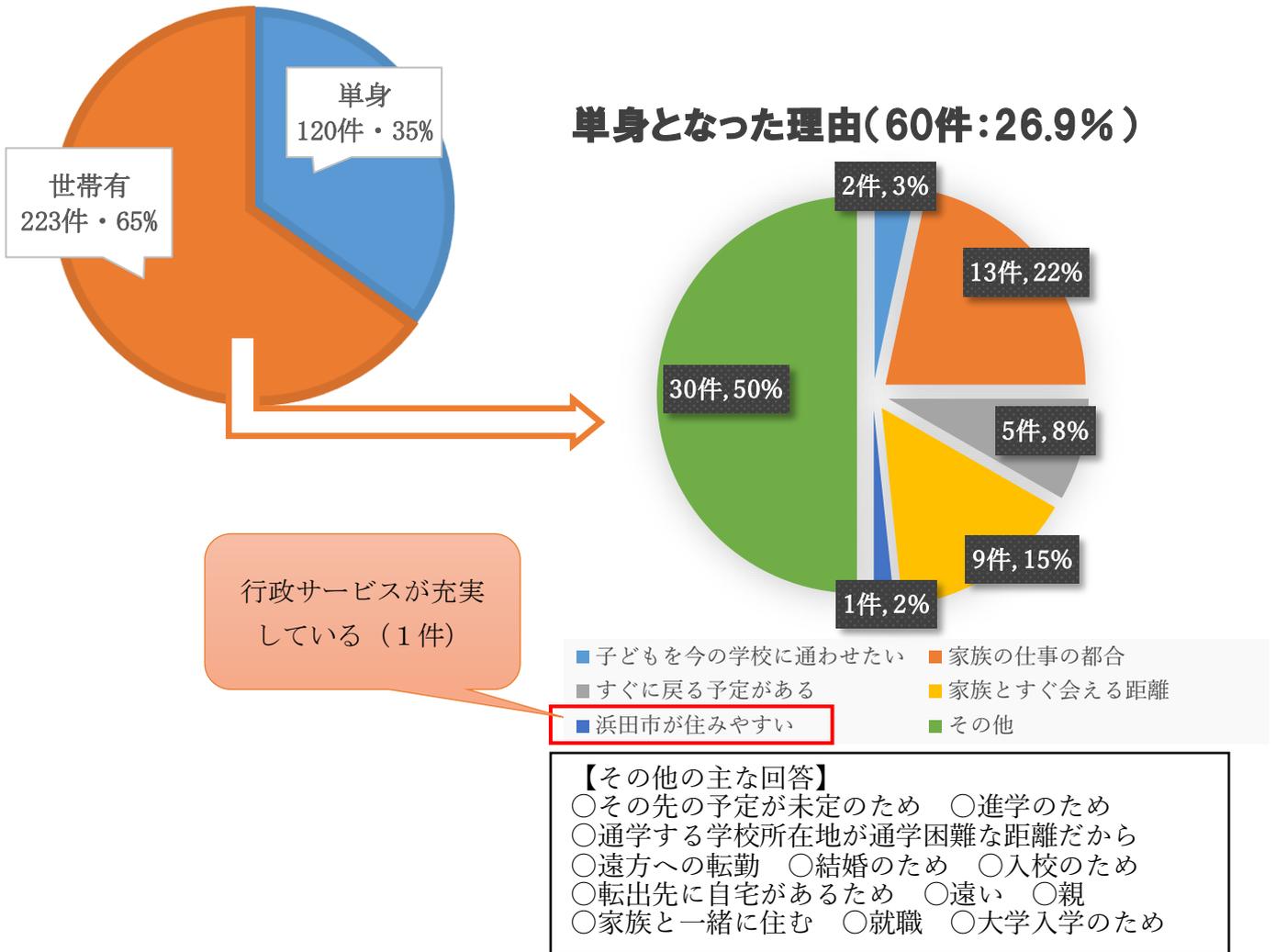
また、半数以上を占める20~39歳の職業の内訳をみると、転入・転出とも「公務員・団体職員」が突出しており、国、県の出先機関での異動が大きく影響することが予想されます。



2-1 世帯の状況(転出)

転出者の約 65%が世帯を持っている方で、その 25%が転出後単身となっています。その理由としては、「家族の仕事の都合」が約 22%で最も多く、次いで「家族とすぐ会える距離」が 9%という状況です。

単身で転出した理由に「浜田市が住みやすい」という回答が 1 件あり、その内容は「行政サービスが充実している」とうことでした。

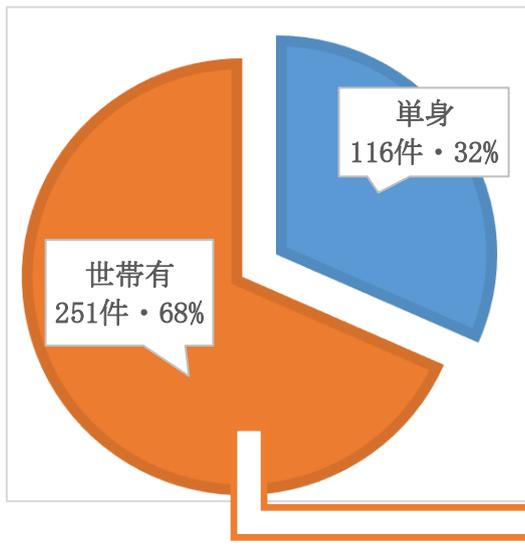


2-2 世帯の状況(転入)

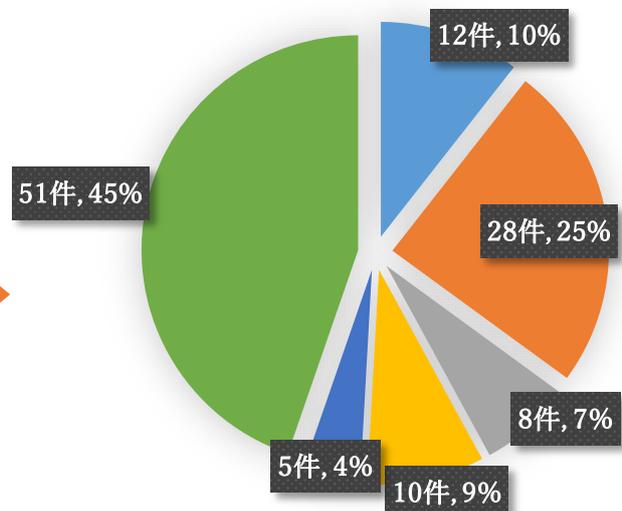
転入者の約68%が世帯を持っている方で、その45%が転入後単身となっています。転出者が単身となる比率と比べるとほぼ2倍の割合で家族を残して浜田市へ転入していることが分かります。

単身となった理由としては、「家族の仕事の都合」が約28%で最も多く、次いで「子どもを今の学校へ通わせたい」が10%という状況です。

単身で転入した理由に「転入前の市町村が住みやすい」という回答が5件あり、その内容は「買い物等の日常生活の利便性がよい」が最も多くなっています。



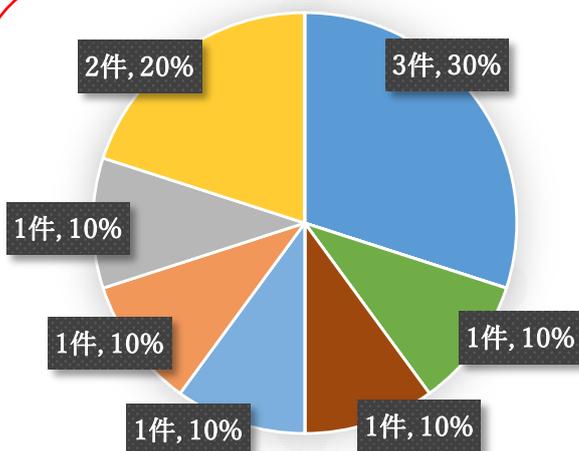
単身となった理由(114件:45.4%)



- 子どもを今の学校に通わせたい
- 家族の仕事の都合
- すぐに戻る予定がある
- 家族とすぐ会える距離
- 転入前の市町村が住みやすい
- その他

【その他の主な回答】

- 単身のため
- 仕事上の都合
- 持ち家がある
- 自分の仕事の都合
- 独身のため
- 寮に住むため
- 職場と実家が離れているため
- 自宅の管理
- 子が県外だから既に単身
- 実家が戸建てのため
- 転勤があるから単身の方が都合が良いから
- 実家農業
- 夫も仕事をしているため
- 自立して親から離れたい



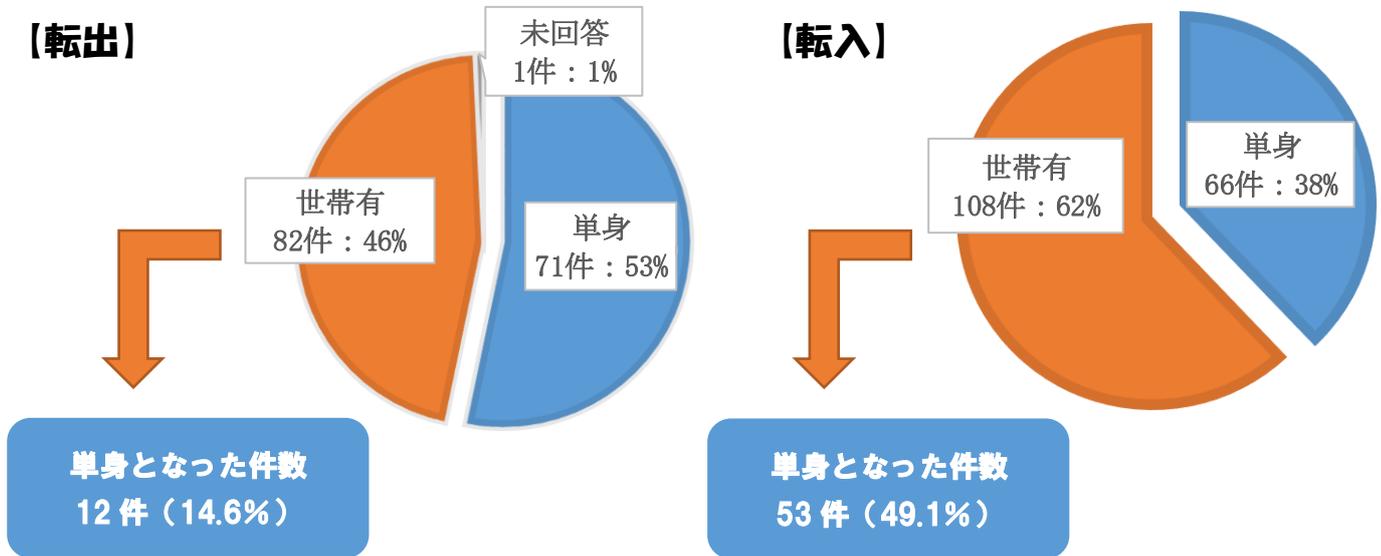
- 買い物等の日常生活の利便性がよい
- 子育て支援が充実している
- 治安などの住環境がよい
- 道路などの都市整備基盤が整っている
- 行政サービスが充実している
- 生まれ育ったところ
- 親等親族と同居・近居

※ 「公務員・団体職員」の世帯状況

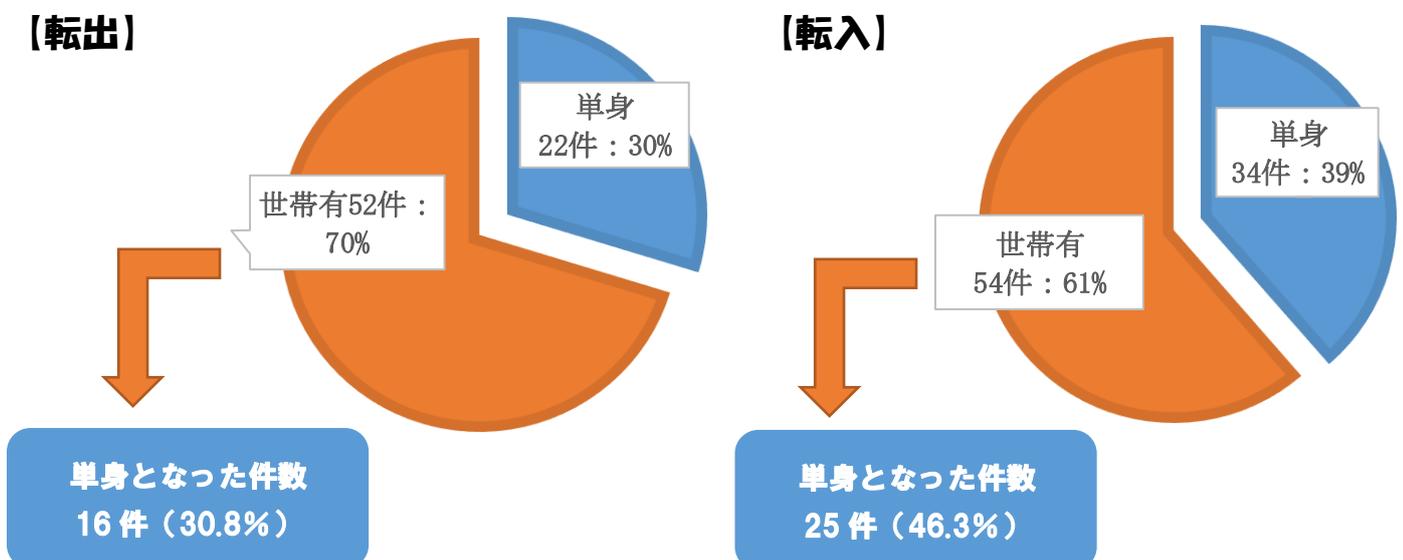
「公務員・団体職員」に絞った世帯状況を見ても回答者全体の傾向と変わらず、転出の際は単身となる人が約15%しかいないにもかかわらず、転入の際はほぼ半数が単身で浜田市へ入ってくる状況になっています。

「会社員」にすると、その傾向は若干少なくなり、転出の際に単身で異動する割合が若干上昇し約30%、転入の際はほぼ同じですが約46%が単身で浜田市へ転入してこられています。

これは、浜田市へ転入する際は転入前の住所地へ家族を残して来られる方が多く、転出される際は家族を連れて出られる方が多いことが分かります。これも、転出入者に「公務員・団体職員」が多いことも影響していると思われます。



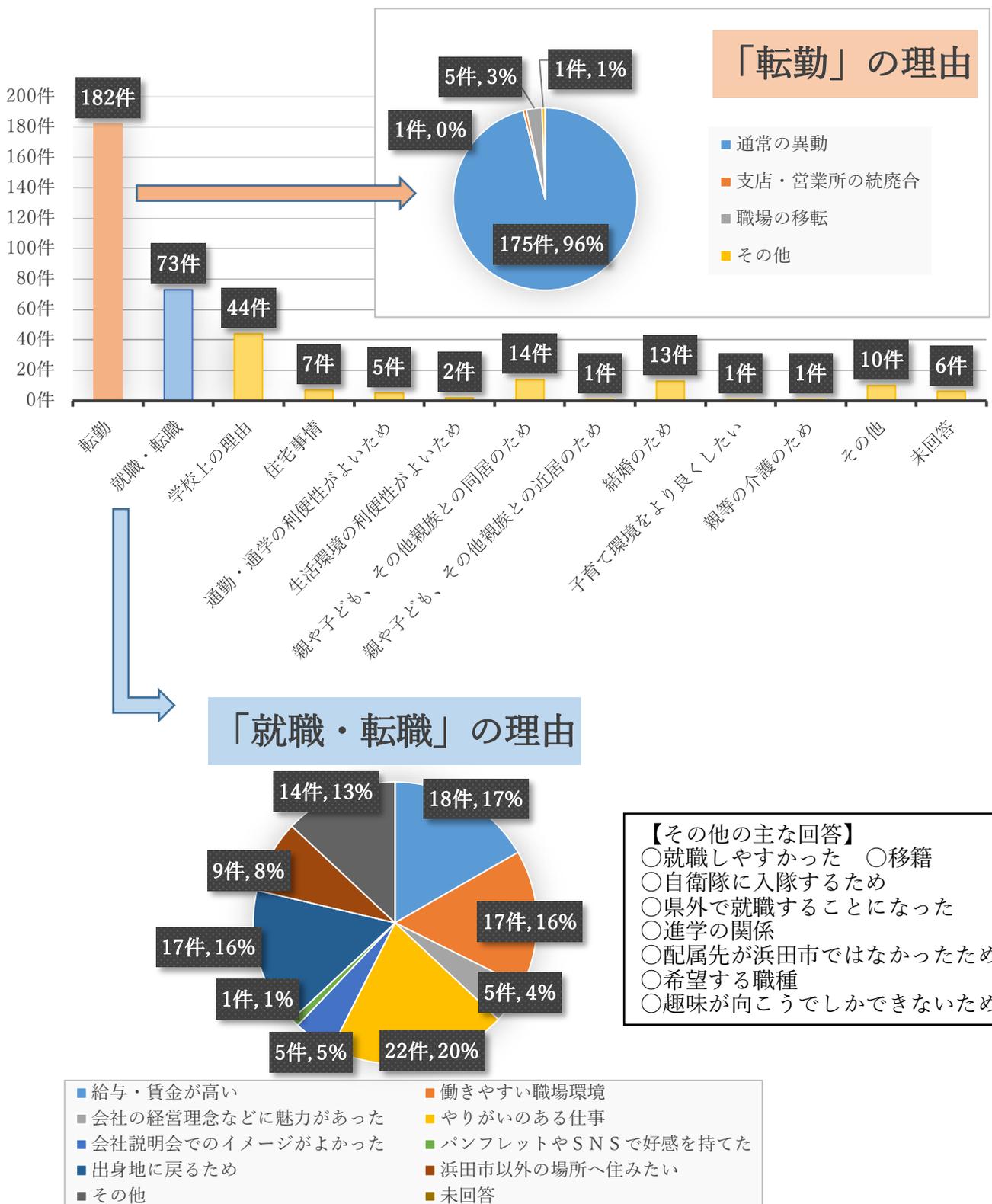
※ 「会社員」の世帯状況



3-1 理由(転出)

転出理由では、「転勤」が最も多く 182 件で、その理由のほとんどが「通常の異動」となっています。これは、転出者の職業に「公務員・団体職員」が多いことから、国・県職員の人事異動によるものと思われます。

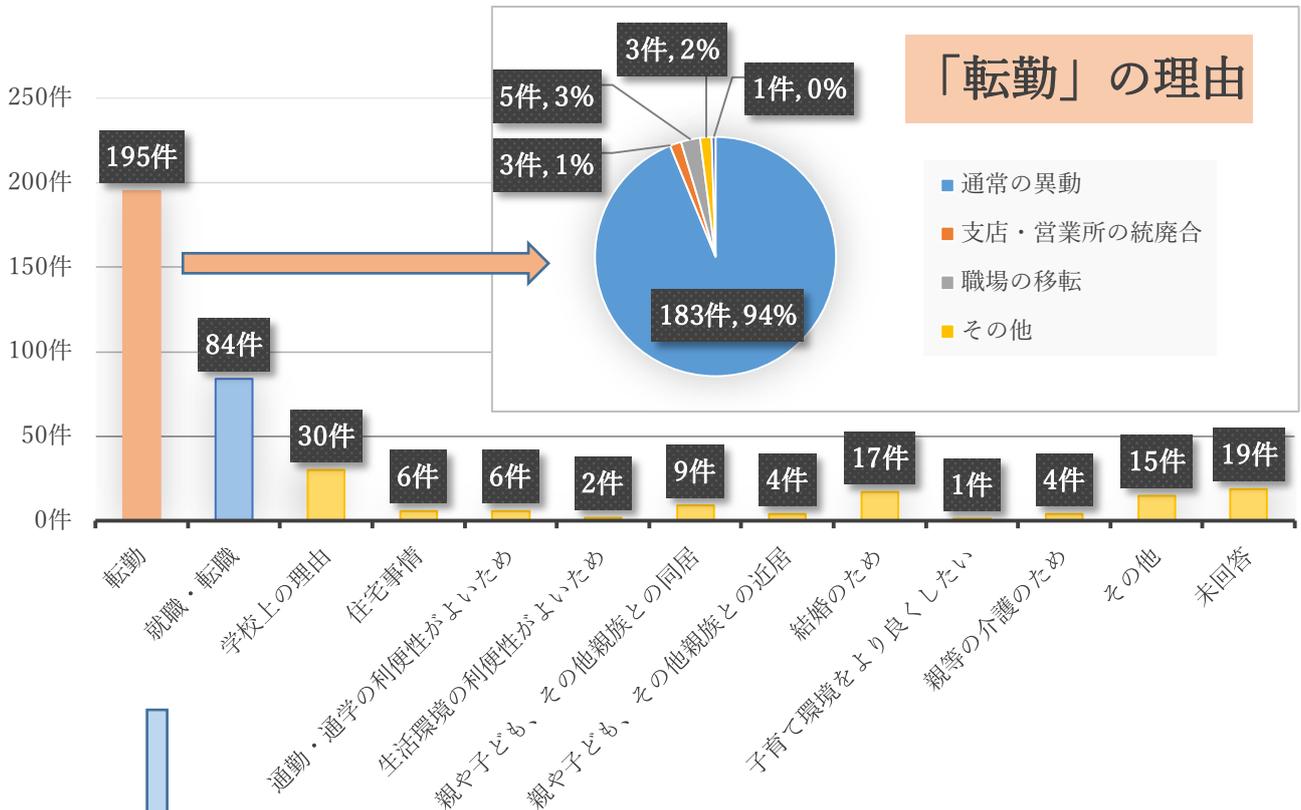
「就職・転職」の理由では、「やりがいのある仕事」を求め、市外へ就職・転職する人が多いことが分かります。また、「出身地へ戻るため」という理由も 3 番目に多いことから、「就職・転職」の際は、出身地を候補に入れて考える人が多いと思われます。



3-2 理由(転入)

転入理由も、「転勤」が最も多く 195 件で、その理由のほとんどが「通常の異動」となっています。転出と同様に職業に「公務員・団体職員」が多いことから、国・県職員の人事異動によるものと思われます。

「就職・転職」の理由では、転出と同じく「やりがいのある仕事」を求め、市内へ就職・転職する人が多いことが分かります。ただ、「出身地へ戻るため」という理由が転出よりも割合が小さく、浜田市出身者がそれを理由に市内へ「就職・転職」を考える人が少ないことが伺えます。



- 【その他の主な回答】
- 奨学金を借りていたから
 - 音楽活動のため
 - 会社からの指令
 - 中四国エリア内での配属のため
 - 跡継ぎ
 - 配属先が浜田になった
 - 祖母が島根在住のため
 - 西部で働きたい思いがあったため
 - 他県での起業準備
 - 求人があったため

4-1 転出先の住所地

転出先は県外では中国地方への転出が多くなっています。これは、新型コロナウイルスの影響により、東京都や大阪府などの都市圏への転出が控えられたものと思われます。

県内では、国や県の出先機関がある松江市、出雲市、益田市が多くなっており、転出者に「公務員・団体職員」が多いことが理由と考えます。

【転出先 上位 10 位】

	県外【総数：187件】			県内【総数：136件】		
1位	広島県	55件	(31件)	松江市	51件	(29件)
2位	山口県	17件	(10件)	出雲市	39件	(21件)
3位	岡山県	15件	(8件)	益田市	12件	(7件)
4位	京都府	11件	(4件)	江津市	10件	(6件)
5位	大阪府	11件	(8件)	大田市	6件	(3件)
6位	鳥取県	10件	(6件)	隠岐の島町	4件	(2件)
7位	東京都	9件	(5件)	雲南市	4件	(2件)
8位	福岡県	8件	(3件)	安来市	3件	(2件)
9位	神奈川県	6件	(3件)	邑智郡	2件	(0件)
10位	兵庫県	5件	(2件)	奥出雲町	1件	(1件)

() 内の数字は、20～39歳の内数
未記入：25件

※ 「公務員・団体職員」の転出先 上位3位

県外【63件】		県内【総数84件】	
広島県	18件	松江市	35件
山口県	8件	出雲市	23件
鳥取県	8件	益田市	7件

未記入：7件

4-2 転入前の住所地

転入前の住所地でも中国地方からの転入が多くなっています。

県内では、国や県の出先機関がある松江市、出雲市、益田市からの転入が多くなっており、転出同様、転入者に「公務員・団体職員」が多いことが理由と考えます。

【転入前住所 上位 10 位】

	県外【総数：170件】			県内【総数：181件】		
1位	広島県	44件	(27件)	松江市	68件	(42件)
2位	山口県	19件	(13件)	出雲市	47件	(34件)
3位	鳥取県	15件	(12件)	益田市	13件	(9件)
4位	大阪府	11件	(7件)	江津市	9件	(8件)
5位	岡山県	10件	(5件)	大田市	8件	(4件)
6位	福岡県	8件	(1件)	邑南町	6件	(3件)
7位	京都府	7件	(5件)	安来市	5件	(3件)
8位	兵庫県	6件	(5件)	隠岐の島町	5件	(2件)
9位	香川県	5件	(2件)	川本町	5件	(4件)
10位	大分県	5件	(1件)	雲南市	4件	(2件)

() 内の数字は、20～39歳の内数

未記入：25件

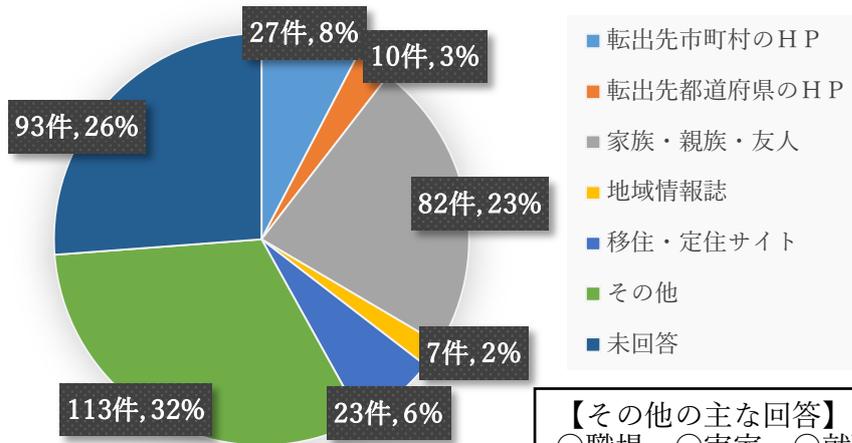
※ 「公務員・団体職員」の転入前住所 上位3位

県外【総数：53件】		県内【総数：117件】	
広島県	13件	松江市	46件
山口県	9件	出雲市	31件
鳥取県	7件	益田市	6件
		大田市	6件

未記入：4件

5 情報収集源

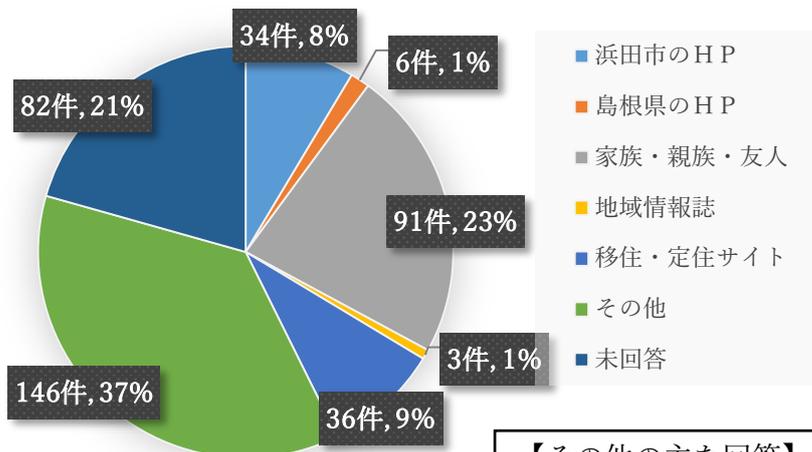
転出先の情報収集源



【その他の主な回答】

- 職場 ○実家 ○就職先 ○会社都合の転勤
- インターネット ○会社が決めていた
- 進学情報誌、学校での進路説明会 ○出身地に戻る
- 職場の宿舍 ○彼 ○予め住所を決められた
- 命により赴任 ○勝手に決められていた ○不動産
- 会社が指定する不動産会社から提供される情報
- 賃貸物件の仲介サイト ○仕事の関係
- 実家への転居 ○県の職員宿舍
- ハローワーク ○不動産のホームページ ○直感
- 物件住宅サイト ○Youtube ○生まれ育った土地

転入先の情報収集源

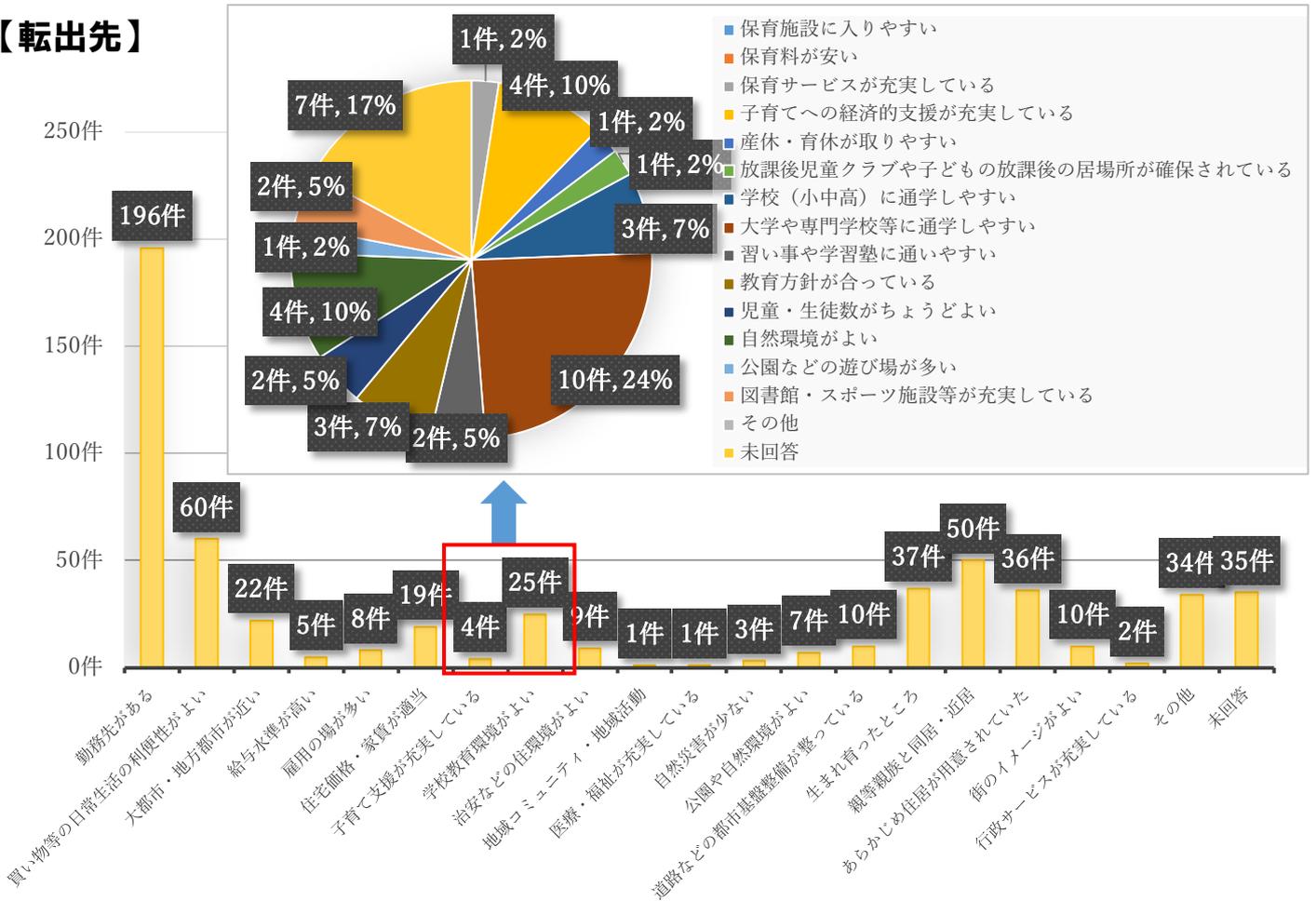


【その他の主な回答】

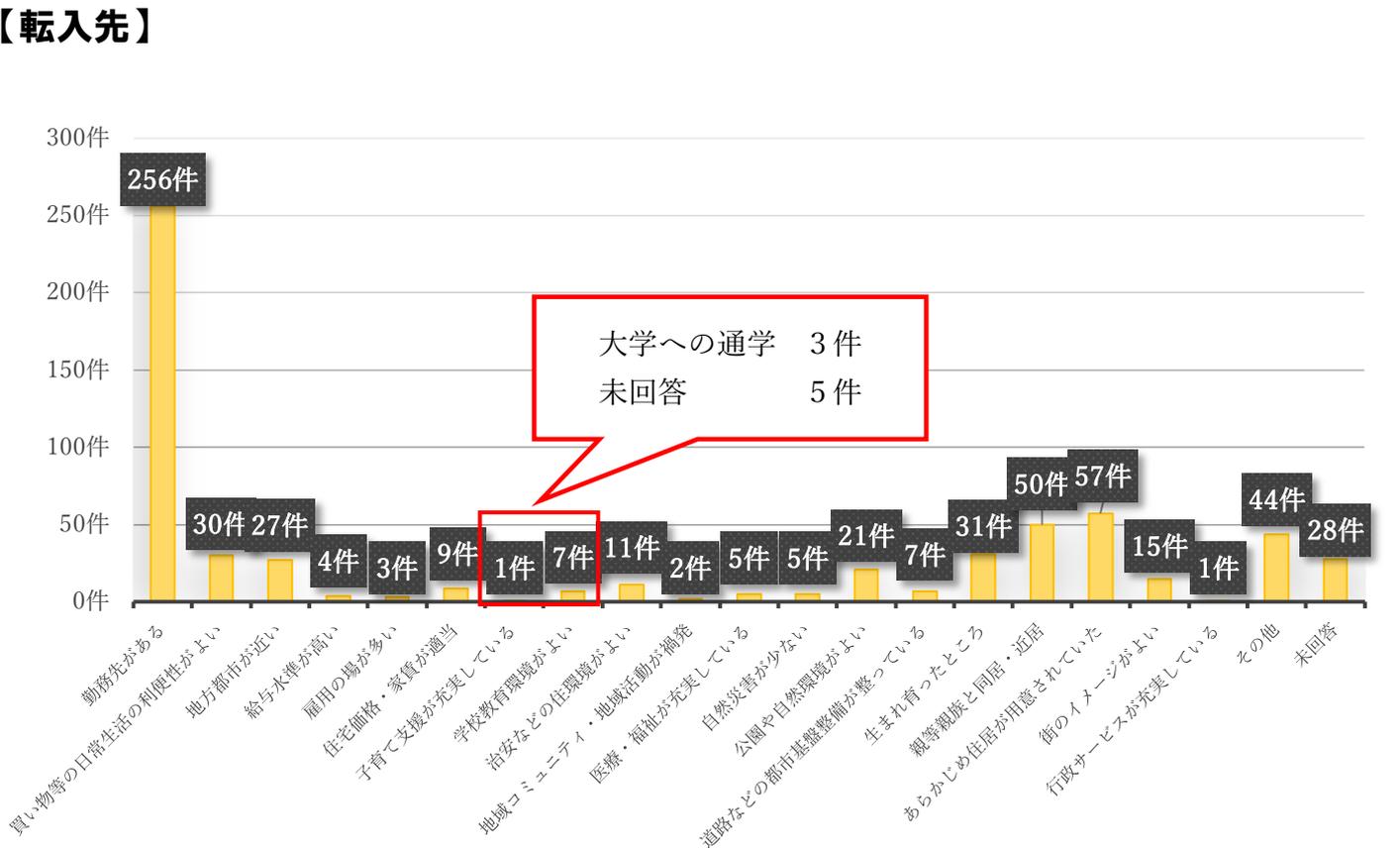
- 不動産のホームページ ○会社からの情報
- 会社の寮がある ○学校 ○社宅 ○スーモ
- 大学での研修ナビ ○勤務先での指定 ○大学案内
- 大学のホームページ ○島根県からの紹介
- 会社の不動産の紹介 ○山陰不動産ナビ
- 県民センターによる情報 ○教委からの紹介

6 居住地の選択理由

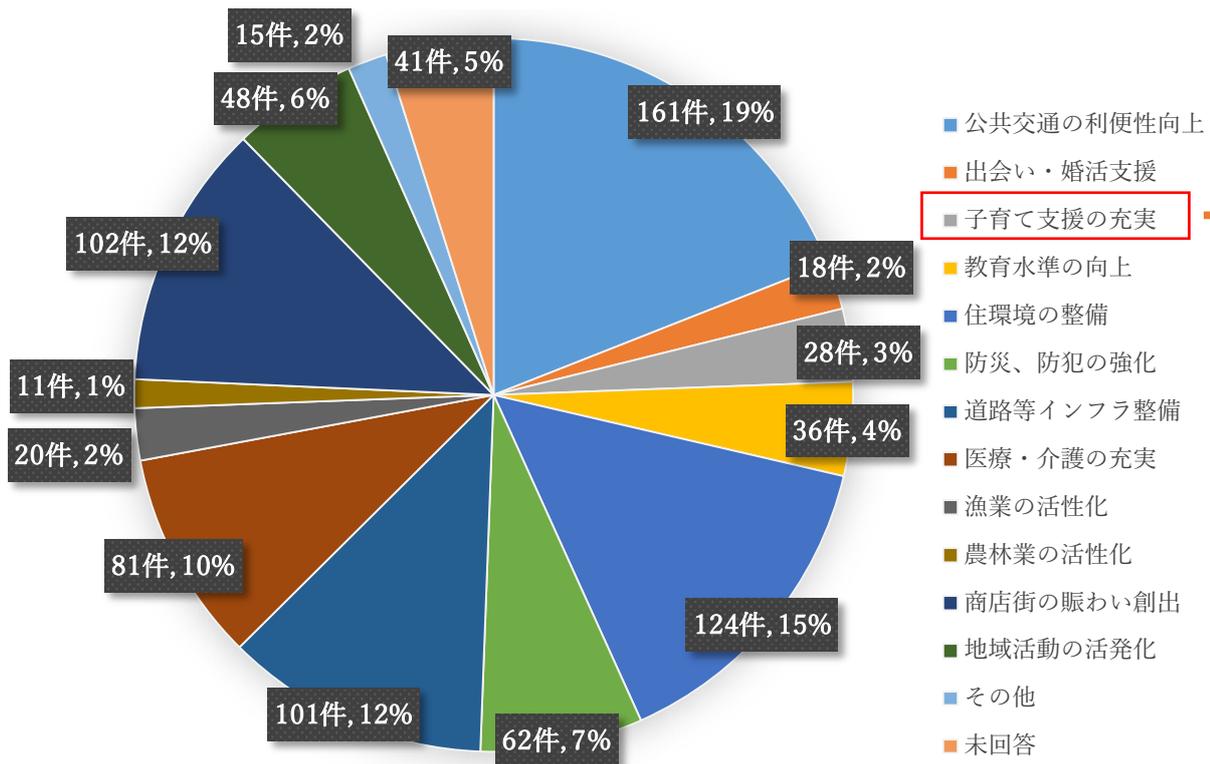
【転出先】



【転入先】



7 転入者が浜田市へ期待すること。



【その他の主な回答】

- 若者（学生）の生活、アルバイト支援
- 地元に戻った人への優遇（支援）
- 島根県内の一つの町として楽しみたい
- 商業拠点の重点的整備
- 食料品購入にあたってディスカウントスーパーの設置
- 飲食店の数の拡大
- ごみの分別の簡略化
- 教育現場、職場環境の改善
- インターネット環境の充実（これが一番教育においても医療においても今やオンライン）

【期待される主な子育て支援策】

- 不妊治療の助成・環境
- 支援センターの充実
- インターネットを活用した都心との学力の差をなくす術
- 公園、保育園に入れなくてもほかの子と触れ合える環境など
- 小さな学校、地域の教育施設を大切に
- 母親（父親）教室、手当等の支援
- 保育料の値下げ
- 保育料軽減
- 医療費無償（中学卒業まで）
- 乳児連れで行ける外食をまとめたサイトや案内

8 浜田市が選ばれるために必要な取り組み(自由記載)

【若い世代】

- 地元の商業を守ることも大事だが、若い人のニーズに応えないと人が減る
- 若い人が遊ぶ場所が少ない ●若者を定住させればもっと良くなる
- 穴場なスポットが実は多いので若者向けの広報がいい ●若い人が求めている店が少ない
- 大学生が住みやすい町。若者がくる町。大学周辺にスーパー、コンビニがないのは致命的。防犯、事故防止のためにも誘致すべき

【商業・観光】

- 飲食店が少ない ●もう少しスーパーや大型店があればよかった ●映画館など娯楽の場がない
- 新しいもの（飲食店、商業施設など）が入ってこない ●お店の数が少ない ●街の活性化
- 神楽がよかった ●居酒屋がアットホーム ●外食チェーン店が少なすぎ ●商店街の活性化
- アスレチックを作ってほしい ●不便さを逆手にとったワーケーションの場の提供
- チェーン店がなく、あっても市街地から遠く不便 ●浜田の飲食店をもりあげてほしい
- 子供服、おもちゃの店舗、ファミレスなどがなく、子育て世代にお勧めできない
- アウトドアを楽しんでいる人が多い ●生活インフラとなっているお店などを拡充させること
- スーパーが充実しており、買い物が便利 ●地元水産物を食べられる場所が少ない
- 子供が遊べる屋内施設が少ない ●浜田漁港をもっと観光地として活かすべき
- どんちっちあじ等ブランドの大規模な広報 ●買い物等を不便に感じることもある
- 観光の振興（地元の人が知らない素晴らしい所が案外あると思う）●ブランド特産品活性化
- 飲食店の応援をしてほしい ●浜田市が持っている漁業ブランドをしっかりと活かすことが大切
- 海産物の盛り上げ、活性化 ●魚の新鮮さ、おいしさをもっともっとアピールすべき
- 大企業の誘致を行い、雇用の創出が必要。また、外国人労働者の受け入れも積極的に行うべき
- 働く場所の選択肢が増えればありがたい ●個人経営の飲食店が多く魅力を感じる
- 市内に資金が入る取り組みを。江津は工業、益田は農業、浜田の魅力UPの独自性追求して
- 海がきれいで山も自然もあるがリゾート地になっていないので手入れされていない状態が残念
- 目玉となる観光資源の発掘・創出および対外的な情報発信 ●駅前がもう少し賑わっていたらいい
- 城下町として、北前船の寄港地としての良好な街並み・景観の創出。外ノ浦の価値は外向きにアピールできるのではないかと考えます
- 昔と今で買い物や飲食できる店のバリエーションが変わっていない印象がある。以前は出雲市に住んでいたが、若い人が行きやすいショッピングモールや飲食店がどんどん増えている。浜田市もどんどん変化して欲しい

【自然環境】

- 天候がよく住みやすかった ●自然が豊か。海、夕日がきれい ●空気がきれい
- ボランティア活動を積極的に行い、浜田川や浜辺のゴミを取り除き、きれいにしたらいい
- 海が近くにある生活は本当に良かった ●スモッグがすごいと感じた
- 松江は比較的雨が多いが、西部の方は晴れの日が多く、散歩やお出かけなどがとても楽しい
- 景観はすばらしく、そこは大切にすべき（昔ながらの建物 etc.）
- 自然の素晴らしさを実感した。自然のもとでのびのび深呼吸できる良さをもっとアピールして
- 海、山ともに豊かな自然環境の活用 ●海・漁船の風景がすてき ●虫が多い

【ごみ】

- ごみの分別を減らして欲しい ●ビン、カンの回収があるといい
- ごみ袋が少し高い（料金が）と感じた ●ごみ処理場が気軽に行けて良かった
- ゴミの袋多すぎ ●ゴミの分別が大変 ●ごみの分別が分かりやすくてよかった
- ゴミ問題環境を考えられている地域の一つだと感じた
- 資源ゴミは公民館、商業施設に収集場所を設置し、持ち込みができるようにしてほしい

【教育】

- 県立大学の努力（学部など） ●就職、学校（教育）環境を充実してほしい
- 小中学校の統合（生徒数が少なく部活動など張り合いがない）
- 子どもの小学校の評判が悪く、教育面も納得できず、人権を無視した環境だったため、正直転出できて安心しています。浜田市教育委員会の事務的な対応の悪さは転勤族の中で有名です
- 人と関わる大切さをもっと小さな頃から身につけるべきです ●教育水準の向上と多様化
- 教育の充実により子育て世代が住むようになるのでは ●教員や事務員の待遇改善
- 歴史的な文化財などが分かればもっとゆったりとした美しい街になると感じた
- 文化施設の充実 ●本の図書館等施設が充実するとうれしい

【福祉】

- 子育て支援の継続的な行政活動 ●医療体制が不安 ●子供ものびのびできた
- 子育てしやすいように、もっと何かをしてほしい ●市内の保育園に入ることができなかった
- 子育て支援のサービスが他都市に比較して低い ●かかりつけ医の充実
- 小学校まで医療費がかからないといい ●市立幼稚園が少なく、転勤族は困る
- 健康保健分野（サービス、インフルエンザ、検診など）にはとても助けられた
- なないろクラブがあり、子育てについて相談することができてとても良かった
- 予防接種の助成など、すみやかに実施されていたことが一番助かりました
- 幼児医療の対象をのぼしてほしい ●高齢者への支援（医療費の充実、独居者への支援）
- 子育て、保育などもっと充実するとともに良い ●第1子、2子への助成金
- 出産育児等の子育て支援の充実があればより魅力的 ●医者や医療従事者の待遇改善
- 医療について、ネット上での病院の情報が少なすぎ。子どものかかりつけや自分のかかりつけを1から探すのに苦労しそう。松江では産後、子どもの病院決めの時に訪問してくれた市の助産師さんがけっこう詳しく病院情報を教えて下さり、決めやすかった
- Uターンを決めたとき、仕事も選べない、住む家もない、行政からの支援（金銭面、フォロー）のなさに驚いた。少子化を止めるためには、生む前段階の医療の充実、休む制度が必要
- ふるさと納税で本来なら入らなかった水準の税が入っているのに、文化財保護などの使い方を見て、なぜ教育・福祉でないのかと感じた。将来は浜田に住まないと思った。仕事だから住むが、浜高を卒業し、同級生が帰ってこないのはそういうところだと自覚してほしい

【住環境】

- 家賃補助があると良い ●家賃は高い ●物価が高くてびっくりした ●ネット環境の整備
- f r e e w i f i が使えるところが少ない ●生活費がかからない ●水道料金が高かった
- 賃貸物件が少ないので充実させてほしい。(特に戸建てが少ない)
- 住む場所がない(アパート・マンション)。家族で移住したが、本当に住む場所が無く困った。中心部に物件が少なすぎる。
- 家賃が高い。あまり手入れされていない物件でも家賃が高い。物件が少ないので高くても借り手がある。
- 大家の管理が悪い。浜田市が「サービス不毛の地」と言われるのも理解できる。家(住む所)は人が生きる上で重要な要素と思う。同じような転勤者と話をしても、同じような意見がよく出る
- 住まいを探すとき、民間の選択肢が少ない
- 公共で探すと良い物件があるが、市や住宅供給公社など一括で見れないので探しにくい
- 住む場所をインターネットで探しやすくすると良い

【公共交通】

- バスの便が良くなるとよい ●免許返納後の高齢者の「足」を確保していただきたい
- 高齢者の通院の手段が少ない ●介護タクシーは予約が必要で急な体調不良時は不便
- 元気な人も病院を多く受診するとタクシー代(一般)がかさむ。石見交通の市内循環の利用率が悪いのであれば、「病院バス」のような病院だけを經由するバスを走らせてはどうか
- 県大と浜田駅間のバスの本数を増やしてほしい ●県内、外の道路交通が不便 空港がやや遠い
- サンライズ出雲を浜田まで延長する ●東京までの移動時間短縮

【都市整備】

- 解体を進めるのは良いが、次への活用につながらず管理地として放置されているのが残念
- 街灯が少なく暗いので危険を感じる ●コンパクトシティで徒歩圏で全てが済むところは魅力
- 駐車場が広くないと人は集まらない ●公園もあり、のびのびと育てられると感じた
- 中心部は山が近くて土地が無いので何とかすべき ●都市ガス化願いたい
- 体を動かせる広い広場がもっとあれば(外で) ●空地の有効活用
- 上下水道整備の推進。町中の悪臭が他の市と比べひどかった ●道がへん・平地が少ない
- 山に囲まれており、市街地に発展の余地が少ない ●坂道が多く、車が無いと不便
- 中山間地域のインフラ(道路整備等)の充実 ●道が狭く一方通行が多く車は大変
- 公園等の子どもが遊べる場所が多いところに魅力を感じる
- 交通インフラをもう少し充実させてほしい ●のびのび遊べる公園が少ない
- 国道9号線が片側2車線ではないので、流れが止まり事故の原因になるし、走りにくい
- 道幅が狭かったり、見通しが悪かったり、徒歩や自転車で移動する際に危険を感じる
- 東部、西部へのアクセスが今より簡単になること ●高速道路開通
- 「海」が見える場所に、安く借りられる住宅があると喜ばれると思う
- 中心部へのアクセスは良いが一つにまとまりすぎた印象

【人間関係】

- 人と人とのつながりが深いと感じます ●近所の方が優しい
- 人の温かみを感じることができた ●自然が豊かで人柄の良い住民
- 他県出身で長期滞在者らとの意見交換が公の場であれば良い ●町の方々が温かいお人柄

- 人柄が良く、人とのつながりを大切にしている。人々の優しく温かい所をアピールしてほしい
- 各方面にコミュニティを設置する
- 以前住んでいた所に比べ、人とのつながりが強く住民の方の思いやりを感じる機会が多い
- 排他的な雰囲気はなくす

【その他】

- とても住みやすい街でした ●U I ターンを検討されている方におススメしたい
- 住みやすく環境がとても良い ●優しい方に囲まれて楽しく過ごせました ●お魚がおいしい
- 浜田市での生活は快適で楽しいものでした！また機会があれば浜田に住みたいくらいです！
- 環境も良く、水も豊富な為、とにかく食べ物はおいしい ●食・住環境が良い
- 住みやすかった ●浜田港で行われた花火大会は今後も続けてほしい
- 移住サービスなど ●コンパクトにまとまっていて便利 ●浜田市に魅力は有ると思います
- 殿町は利便性が良く便利であった ●コロナの不安も感じないいい街です
- 浜田市は海運が主力と思われるので、そこで働いている方を大切にしてください。
- もっと港を活用してほしい ●ゆったりとした時間の中で生活できるところがとても好きです
- 生活に必要な機能が揃っていてコンパクトで住みやすい ●虫が多い
- 災害が少ない ●コインランドリーの多い街でした。(便利でした)
- 江津市、美郷町、邑南町みたいに他地域から見て魅力ある町づくり、町おこしを考えていただきたい
と思います。今の浜田市に魅力は感じません
- 「海が見える町」でとてもすてきなところでした。魔女の宅急便の曲がとっても合います。海のあたり
りをよくドライブしました。また遊びにきます。●釣りをするようになった
- 図書館が充実していた ●遊べる場所が多く、通行の便も良いため広島を選んだ
- 浜田市は親切、住みやすく大変助かりました。本当にありがとうございました。
- おもいやりの心をもって浜田の人が好きだから残りたいと思える取り組みがあると良い
- 良いところよりも悪いところが目立つのでいくら実家が浜田市でも今のままでは残りたいと思いません。
次戻った時にはずっと住みたいと思える町になっていて欲しいです。
- 6年間住んだが、いざ転勤と思うと、さびしい気持ちでいっぱいになる
- 情報やシステムに遅れがあるイメージがある。SNS などでもっと積極的に最新を取り入れるべき●家
族ができて住むのにいい！ ●今のままを維持すること ●今のままの浜田が好き
- 知名度を上げるなど ●診療所の方がとても親切で安心できた
- 車さえあれば買い物も、遊ぶ（自然と）場所充実している
- 島根県の移住支援は職種の多い東部ばかり。子育て、親の介護のお金や時間の心配がない状態でUタ
ーン、I ターンを募集しなければ、仕方なく帰ってくる人のみで、積極的な人口増加にはつながらない
- 良い出会いがあればうれしいです ●色々な魅力を発信する。移住者を増やす
- 地域活動の魅力発信 ●パトロールや見回り活動などを強化してほしい
- みんながそろってできるイベントやまつり、パレードを企画する
- アンケートなども紙ではなく、電子管理にした方がよい
- 子どもの安全など、治安に少し不安がある ●職場が浜田だったからたまたま住んだだけ
- コロナ対策と経済とのバランスをどのようにして両立するのか発信し続けること
- 浜田市が特別に魅力を感じて選び転入したのではない
- 浜田市の人口が増えると思っていない。

- 減少した人口をもっと丁寧に分析し、「浜田市」で住み続ける為に必要なのか見極め税金を投入していくべき
- 他の自治体の取り入れる施策、問題点を浜田市行政の広域的連携に活かす議論があってよい
- 小さなコミュニティで満足感を得られ。そのコミュニティをつなぐ行政という方向は今の浜田市民ファーストになる
- 全ての生活面においてこちらの方が生活しやすい